



# 「地域振興への道」論議

## 原発立地議会サミット開幕

川内

### リスク、必要性で賛否

原子力発電所などを抱える市町村の議会議長会（会長・高橋照男柏崎市議会議長）が主催する「全国原子力発電所立地議会サミット」が二十日、川内市で始まった。隣接を含む二十六市町村の議員や電気事業者ら約三百九十人が参加、原発立地を地域振興へどう結びつけるかなどを議論した。二十一日は分科会の内容を報告、大会宣言を行い終了する。

五つのテーマで行われ、意見交換した。各自自治体の現状報告を元、原発推進の立場からの

意見が多かったが、「プルサーマルと核燃料サイクル」分科会では慎重論や否定的な意見も相次いだ。主催県ということから川内市など地元議員の発言は少なかつた。同サミットは一九九七年から一年に一回開かれており、今年で三回目。

## 「国は説明不足」市町村合併後の振興は

### 分科会から

開会式後、賛否それぞれが不確実なことなどを挙げた。九州大学大学院 中央研究所研究顧問の中村政雄氏は「世界は脱・原発に向かつておらず、エネルギー自給率が低い日本では原子力は欠かせない」と必要性を強調した。分科会は「原子力の防災対策と安全確保」など

慎重、反対の意見目立つ  
資源少国を理由とした推進意見のほか、安全性などから慎重、反対意見が目立った。

「市町村合併した場合、地域振興策はどのようなのか」と先行きに懸念を表明した。原子力立地地域振興特別措置法などについては、福島県双葉町の丸添富一議長が「国や県は市町村が使いやすいように、立地地域の要望に目を向けてほしい」と注文した。

「高度な技術論を含む問題で住民が正しく判断できるか疑問」と述べた。一方、プルサーマル導入をめぐり住民投票を行った新潟県刈羽村の広川優子議員は「理解活動や説明が不足し、住民が意思表示する機会が必要だった」と背景を説明。また「住民合意の得られ具合を、どう測るか」という質問も出たが明確な答えはなかった。



開会式であいさつする原口博文川内市議会議長

茨城県東海村の永井一郎議員は、使用済み核燃料の全量再処理に否定的。「六ヶ所村再処理工場が稼働すれば、かなりのプルトリウムが生まれるが、プルサーマルでは消化しきれず、国際公約に違反する」と述べ、猶予期間を設けて状況を見極めるべきだと提案した。国の説明不足を問う意

原子力と地域振興  
することを決めた。そのほか、石川県志賀町の長谷川勝朗議員が

「正確な事実を教えれば感情的な判断は減る」と原子力理解に学校教育の重要性を訴える意見も多く出た。

原発立地議会サミット開幕  
原子力発電所などを抱える市町村の議会議長会（会長・高橋照男柏崎市議会議長）が主催する「全国原子力発電所立地議会サミット」が二十日、川内市で始まった。

プルサーマルと核燃料サイクル  
見も相次いだ。新潟県柏崎市の丸山敏彦議員は推進の立場から「真実は一つのはずなのに、情報が

住民投票への否定論相次ぐ  
原子力発電にかかわる住民投票に否定的な意見が相次いだ。

地域住民の判断だけで決められない。新潟県柏崎市の核井雅浩議員は

開会式であいさつする原口博文川内市議会議長

原発立地議会サミット開幕  
原子力発電所などを抱える市町村の議会議長会（会長・高橋照男柏崎市議会議長）が主催する「全国原子力発電所立地議会サミット」が二十日、川内市で始まった。

原子力と地域振興  
することを決めた。そのほか、石川県志賀町の長谷川勝朗議員が

「正確な事実を教えれば感情的な判断は減る」と原子力理解に学校教育の重要性を訴える意見も多く出た。



朝日新聞

川内で「原子力サミット」開幕

防災や振興で意見交換

原発を抱える自治体の議員らが議論する「第3回全国原子力発電所立地地

事故や米国のテロ事件に触れ、「原発を取り巻く環境は極めて厳しい。原子力政策は住民の理解と協力なくしては成り立たない。十分な議論を重ねて欲しい」とあいさつした。

の中村政雄・研究顧問は「新エネルギーが原子力、石油の代わりになる見通しは現在はない。米

西日本新聞

安全、防災など討議

原発自治体サミット開く

「第三回全国原子力発電所立地地議会議サミット」

が二十日、鹿児島県川内市の国際交流センターな

議会議長でつくる「全国原子力発電所立地市町村

初日は九州大大学院の吉岡斉教授と電力中央研

いはすだ」と指摘した。中村氏は推進の立場から一米のアフガン攻撃に

この後「防災対策と安全確保」「住民合意と地域共生」などのテーマで

毎日新聞

「21世紀の電力」語る

川内市で原子力サミット

原子力発電所を抱える市町村議会議員たちが一

国原発立地市町村議会議長会主催）が20日、川内

今回のテーマは「21世紀のエネルギー確保・環境保全。第一日は開会

問が講演した。吉岡教授は「電力自由化が進む中、原発はコストが高く、リスクも大きい」と原発の新設、増設を批判。中村

読売新聞

核燃料税配分や住民投票是非

問題点浮き彫りに

全国原発立地地議会議サミット

川内市で二十日開幕した一つのテーマで行われた。核「第三回全国原子力発電所立地地議会議サミット」の分科

鹿児島新報

**「共存が報われる社会を」**  
 原電立地議会  
 サミット大会宣言行い、閉会  
 川内市

20日から川内市の国際交流センターなどを会場に開かれていた「全国原子力発電所立地議会サミット」(全原子力発電所立地市町村議会議長会主催)は21日、「原子力発電所と共存しているわたしたちの労苦などが、本来の意味で報われるべき社会を」という大会宣言(原子力サミット川内宣言)を行って閉会した。

同サミット最終日の21日は、川内市の国際交流センターで評論家・木元教子さんの「メディアと原子力報道」と題する記念講演に続いて全体会に入り、20

日に川内市のホテルなどで開かれた5つの分科会の報告、大会宣言などが行われた。

大会宣言では、「国策として原子力政策を進めるに当たっては、国が前面に立って立地地域住民らへの理解活動を積極的に進め、安全対策等についてわかりやすく説明し、広く意見を公聴できる体制の構築を」、「防災ヘリ等による搬送を含め、緊急時の被ばく医療体制の確立を」、「交通弱者対策を含めた避難道路を早急に整備すべき」、「核燃料税の立地市町村への定率配分を巡り、ばらつきを無くすべき」など、国及び関係機関に問題提起する8項目を盛り込んだ。

同宣言では結びとして、「国策として推進されている原子力発電が、全国人口のわずか4%が住む私たちの地域から、発電電力量の35%近くを発電し電力需要を賄っている現状を国民一人ひとりが認識し、原子力発電所と共存しているわたしたちの労苦が、議論が本来の意味で報われるような社会を熱望する」と訴えている。

(周防原孝司)

朝日新聞

**「原発と共存の労苦 報われる社会望む」**  
 サミット幕  
 閉

原発がある自治体の議員らが集まり、川内市で開かれていた「第3回全国原子力発電所立地議会サミット」は21日、「原子力発電所と共存しているわたしたちの労苦が報われるような社会を熱望する」と訴える大会宣言を採択して閉

この日は、5つの分科会での意見交換の内容が報告された。プルサーマルや住民投票の是非を巡っては、賛否両方の立場から意見が出た。また、テロ対策については「自衛隊による警備を検討すべき」との意見もあつたとい

大会宣言では、国や関係機関に対し、避難道路を早急に整備することや法定外普通税の研究を進めることなどを問題提起した。

南日本新聞



大会宣言し終了した原発立地議会サミット  
=21日、川内市

「理解活動は 国主導で」  
 原発立地議会サミット  
 大会宣言行い閉幕  
 川内市で開かれていた全国原子力発電所立地議会サミットは二十一日、原子力政策の理解活動は国主導で進めるなどとした大会宣言を行って、二日間の日程を終了した。大会宣言では五つの分科会の討議内容を受け、

避難道路の早急な整備のほか防災ヘリなどを使った被ばく医療体制の確立や核燃料税の市町村への定率配分など原発立地地域が抱える課題八件を問題提起。

全国人口約4%に当たる原発立地地域が電力の約35%をまかなう現状を国民一人ひとりが認識してほしいなどと訴えた。宣言文は小牧勝一郎川内市議が読み上げた。これに先立ち、評論家の木元教子氏が「メディアと原子力報道」と題して講演した。

西日本新聞

**「原発と共存の労苦 報われる社会熱望」**  
 全国立地議会  
 サミット 宣言採択し閉会  
 川内市

原子力発電所が立地する市町村の議員や電気事業者らが参加して川内市で開かれていた「第三回全国立地議会宣言採択し閉会」は二十一日、川内市で開かれた「第3回全国原子力発電所立地議会サミット」が二十一日、閉会した。

この日は全体会があり、二十日に「原子力の防災対策と安全確保」「原子力と地域振興」「原子力の住民合意と地域共生」など五つのテーマで開催した分科会の内容が報告された。

最後に提案された大会宣言案は「原子力政策を進めるにあたり、国が前面に立って立地地域住民などへの理解活動を進めるべき」「企業誘致の起爆剤となる電気料金削減制度を拡充し、立地地域の産業振興を図るべき」と問題提起。「原子力発電所と共存しているわたしたちの労苦が報われるような社会を熱望する」と訴える内容で、拍手で採択された。

共済の発展

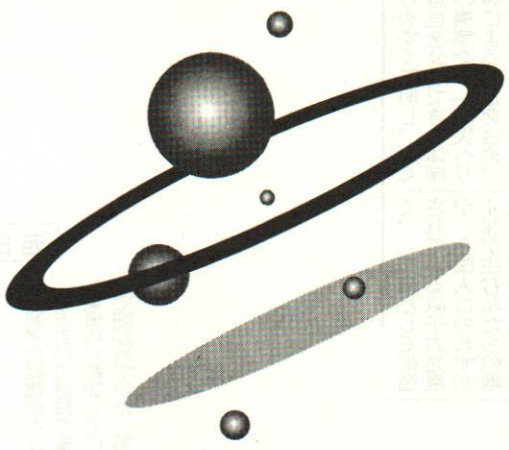
共済の発展

共済の発展は、社会の発展と共に進んでいく。共済は、社会の発展を支える重要な役割を果たしている。



共済の発展は、社会の発展と共に進んでいく。共済は、社会の発展を支える重要な役割を果たしている。

共済の発展は、社会の発展と共に進んでいく。共済は、社会の発展を支える重要な役割を果たしている。



共済の発展

共済の発展は、社会の発展と共に進んでいく。共済は、社会の発展を支える重要な役割を果たしている。

共済の発展は、社会の発展と共に進んでいく。共済は、社会の発展を支える重要な役割を果たしている。

共済の発展は、社会の発展と共に進んでいく。共済は、社会の発展を支える重要な役割を果たしている。

共済の発展

共済の発展は、社会の発展と共に進んでいく。共済は、社会の発展を支える重要な役割を果たしている。

共済の発展

共済の発展

共済の発展は、社会の発展と共に進んでいく。共済は、社会の発展を支える重要な役割を果たしている。

共済の発展

共済の発展は、社会の発展と共に進んでいく。共済は、社会の発展を支える重要な役割を果たしている。